

地方都市における「貧困」に対する社会的組織化の研究
— 専門家集団 / 「当事者」による公共圏と親密圏の再編成 —

西川 知亨
(大谷大学文学部 講師)

2010年12月



京都大学グローバル COE
「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」
Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科
Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

アブストラクト

本稿の目的は、貧困に対抗する個別の社会的／集合的活動が、公共圏や親密圏の編成にどのような影響を与えているかを考察することにある。そこで、フランクフルト学派に由来する公共圏分析（ハーバーマスからフレイザーらに連なる系譜）と、シカゴ学派に由来する親密圏分析（バージェスの友愛的・相互作用的家族論などを一源流とする系譜）を、シカゴ学派のひとつの意義と筆者が考える「総合的社会認識」を活用して絡み合わせることで、貧困に対峙する公共圏と親密圏の再編成に関する時間モデルと空間モデルを構築した。そのモデルで示したのは、「貧困」問題を解決すべく専門家たちが構築した対抗的公共圏が、別の対抗的公共圏（や市場社会等）を巻き込みながら、もともと傾向として批判的・反発関係にあった国家・行政とも協力関係を築く志向性を持つようになり、さらには多元的な親密圏の豊饒化に影響を与えているということである。

キーワード：貧困、シカゴ学派、総合的社会認識、対抗的公共圏、社会的組織化

2009 年度次世代研究「地方都市における『貧困』に対する社会的組織化の研究 ―専門家集団 / 「当事者」による公共圏と親密圏の再編成―」（研究代表：西川知亨）による成果である。

【メンバー】（ ）内は 2009 年度プロジェクト時点

西川 知亨（京都大学大学院文学研究科グローバルCOE 研究員）